

三重県 伊賀市企業版ふるさと納税

2026年度版



古くから忍びの里として独自の文化を築いてきた伊賀の里
そこに息づく技術と精神は代々秘伝として
変わらずに受け継がれてきました
忍びのこころ息づく里、伊賀市を応援してください



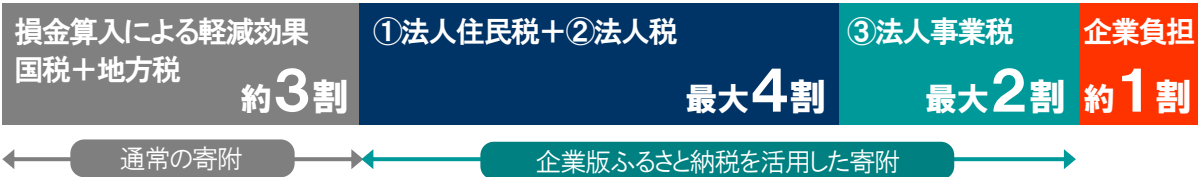


伊賀市 企業版ふるさと納税



最大、寄附額の約9割が税制上で優遇措置

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。



- ①法人住民税…寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税…法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税…寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

企業様の地域貢献への取り組みのPRに 伊賀市とのパートナーシップのきっかけに

税制優遇を
受けつつ
地域貢献をPR

伊賀市との
パートナーシップ
構築の可能性

伊賀市公式
ウェブサイト
でご紹介

企業版ふるさと
納税のメリット

ご寄附の流れ

<p>ご連絡ください</p> <p>伊賀市交流政策課 TEL:0595-22-9623</p> <p>※裏表紙をご参照ください。</p>	<p>ご寄附のお申込み</p> <p>伊賀市の取り組みに賛同いただける企業様は、寄附申出書によりお申込みください。</p>	<p>寄附金の払込み</p> <p>市からご寄附の依頼をいたします。寄附金の払込みをお願いします。</p>	<p>税の申告手続き</p> <p>市が交付する受領証により、地方創生応援税制を適用することを申告してください。</p>
---	--	--	---

【ご確認ください】

- 1回あたり10万円以上の寄附が制度の対象となります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- 伊賀市内に本社(主たる事務所または事業所)がある場合は制度の対象となりません。

伊賀市の

基本目標

- ①豊かなひとづくり「こどもが育つ、大人も育つ」
- ②継承と変革「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」
- ③これからの自治「つながりを結び直す」

4つの分野

1いのちをまもる

2026年度
主な寄附
募集事業

キーワード:○防災・危機 ○消防・救急 ○医療

101 地域医療を守る!! 上野総合市民病院医療機器更新プロジェクト

伊賀地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し続けるため、老朽化した医療機器の計画的な更新を推進しています。救急医療や高度な診断に不可欠な最新鋭の検査機器等を導入し、将来にわたり市民の命と健康を支える医療体制を維持・強化することで、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。



102 妊活応援!! こうのとりのプロジェクト ～不妊治療を応援します～

不妊治療を受ける方の“こどもを授かりたい”という思いに寄り添う支援です。一般的な不妊治療は保険適用となっていますが、治療が長期にわたるなどして医療費が高額になっていくケースがあります。こどもを望む方に、必要な治療をあきらめることなく続けていただくため、自己負担分などを助成します。



2026年度
主な寄附
募集事業

2 暮らしをささえる

キーワード:○共生社会 ○健康 ○スポーツ ○高齢者福祉
○障がい者福祉 ○環境 ○廃棄物 ○上下水道
○都市政策 ○住宅 ○公共交通 ○防犯・交通安全

201 名物◆忍者列車でござる！伊賀線応援プロジェクト

近鉄大阪線とJR関西本線を結び、城下町や田園地帯を駆け抜ける伊賀線は、学生の通学や市民生活、そして観光などの来訪者の移動手段に欠くことのできない存在です。伊賀線は、地域の活性化やゼロカーボンシティに寄与するほか、名物忍者列車は地域外からの来訪者を呼び込む観光資源としての役割も担っています。

©松本零士/零時社



202 みんなで支える行政サービス巡回車更新プロジェクト

行政サービス巡回車は、地域の生活圏内の移動を支え、各支所や鉄道・路線バスへのアクセスなど、地域にとって重要な移動手段として機能していますが、車両の老朽化が進み、運行を維持するため計画的に車両更新していく必要があります。新車導入により、子どもから高齢者まで、みんなで使って支える公共交通をめざします。



203 安全で快適なスポーツ施設改修プロジェクト

「すべての市民が生活の中でスポーツに親しみ健康で豊かに暮らせるまち」を目指す伊賀市では、生涯を通じて気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを目指しています。市民が安全で快適にスポーツを楽しむことができる環境づくりの一環として「天候に左右されず通年利用が可能な屋外環境」や「猛暑に対応した屋内環境」の整備に向け取り組みを推進します。



204 スポーツでまち活性化プロジェクト

「伊賀市生涯スポーツ都市宣言」を行った伊賀市では、スポーツフェスティバル等を開催し、市民の健康増進や体力向上をはじめ、市民が生活の中にスポーツを取り入れ、生涯を通じて気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。また、スポーツ合宿等の誘致や「走ること+旅」がセットとなったマラソン大会の開催、トップレベルのスポーツ観戦などスポーツツーリズムの取り組みを推進します。



2026年度
主な寄附
募集事業

3ひとをはぐくむ

キーワード:○こども ○人権・平和 ○同和 ○学校教育
○生涯学習 ○文化・芸術 ○歴史・文化遺産
○住民自治・市民活動 ○多文化共生

301 子どもの未来を創る読書活動推進プロジェクト

読書をすることは、「考える力」「感じる力」「表す力」等を育てるとともに、豊かな情操をはぐくみます。本を読む習慣、本を通じて物事を調べる習慣を、子どもの時期から確立していくことの重要性があらためて認識されています。すべての児童生徒が平等に本に出あえる環境として、学校図書館の充実を進めます。



302 学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進プロジェクト

急激な社会の変化に伴い、学校や地域を取り巻く環境はますます複雑化、多様化しています。だからこそ、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが必要です。学校と地域がともに子どもたちの教育に関わる体制の構築を進めます。



303 こどもの健康ならだを育むための給食プロジェクト

健康で健やかなからだを育むため、バランスの取れた給食の提供、食材や栄養に関する食育を市立学校、市内の保育所、幼稚園、認定こども園で進めています。「スマイル給食」や伊賀米を使用するなど、食を通じたふるさとへの学びにも取り組んでいます。健康なからだを育む重要な時期に、食育の充実や保護者の経済的負担軽減を図ることから給食費・副食費の無償化を行っています。



304 多様な学びを保障する不登校支援プロジェクト

不登校児童生徒が増加する中、不登校児童生徒の社会的自立に向けて多様な学びを保障していく必要があります。公的な機関として、伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)の充実やモデル校を指定し校内教育支援センターの設置に取り組んでいます。三重県立みえ四葉ヶ咲中学校や民間フリースクール等との連携を進めるとともに、そこに通う児童生徒の保護者負担の軽減を図っています。



305 都市公園元気プロジェクト

都市公園は都市環境保全機能のほか、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のレクリエーション活動、健康運動等の活動拠点となっています。都市公園の安全・安心な環境を維持していくため「都市公園げんきプロジェクト」として公園内施設(遊具・トイレ・休憩施設・照明等)の予防保全・老朽化対策等に取り組みます。



306 わくわくドキドキがとまらないPart2！保育所・幼稚園プロジェクト

老朽化が進んだ遊具を撤去し、すべての子どもたちが安心して一緒に遊ぶことができるインクルーシブ遊具を導入します。また、保育方針に掲げている「はだしで元気に過ごす環境を作る」ために園庭整備を実施し、園庭を広々と効果的に利用します。すべての子どもたちがのびのびと安全安心に遊ぶことができる環境を整え心身の発達を促していきます。



307 使用済み紙おむつ持ち帰りゼロ！プロジェクト

これまで市内の保育所、認定こども園で使用した使用済み紙おむつは原則家庭に持ち帰り処分していました。令和6年4月より使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、市内の保育所、認定こども園の使用済み紙おむつを回収、処分することで、保護者、保育士の負担軽減を図ります。



308 学びを通じた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」プロジェクト

多様な学びの機会を通して、世代や立場を越えた出会いや交流が自然に生まれ、そこから人と人とのつながりが広がっていきます。そうした学びの積み重ねが、地域に主体的に関わろうとする気持ちを育み、一人ひとりの力が地域の未来を支えています。学びをきっかけに、誰もが安心して関われる、あたたかく活力ある持続可能な地域社会の実現を目指します。



309 熱中症から子どもを守るプロジェクト

夏の酷暑が続く中で、熱中症等の健康被害から子どもたちを守るために、学校教育活動の制限や各種行事の中止・変更等の事態(暑さ指数が31以上になった場合、原則運動は中止)が生じています。安心して登下校したり、学校生活をおくったりできるよう教育環境の整備を進めます。



2026年度
主な寄附
募集事業

4にぎわいをつくる

キーワード:○地域経済 ○農業・林業 ○都市拠点
○商工・労働 ○観光 ○関係人口

401 起業家応援プロジェクト

伊賀市内での創業を応援します！

四方を山に囲まれた伊賀市には、歴史を感じる城下町、自然あふれる場所など、他のエリアにはない魅力的な場所があることから、起業家が近年増加傾向にあります。起業家への支援を行うことにより、伊賀市のにぎわい創出につなげ、魅力的なまちをつくれます。



402 若者定住のための奨学金等返還金支援プロジェクト

伊賀市の将来を担う若者の市外流出の抑制と、市外の若者の市内流入・Uターン等の促進を図るため、奨学金等の貸与を受けて修学した人が、市内に定住及び企業等にて就労し、奨学金等を返還する場合にその返還額の一部を支援します。



403 IGABITO(若者)育成支援プロジェクト

自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識・実行力を持った若者(=IGABITO)の育成に取り組んでいます。市内の県立・私立高校等が行うIGABITO育成の取り組み支援、地域を良くするために自ら考え、実行するIGABITOで構成する「伊賀市若者会議」の活動支援を行います。



**伊賀市の取り組みにご関心がございましたら、
ぜひ、ご連絡ください。**

〒518-8501 三重県伊賀市四十九町3184番地

伊賀市 地域力創造部 交流政策課

TEL:0595-22-9623 FAX:0595-22-9672

E-mail: chisou@city.iga.lg.jp

URL: <https://www.city.iga.lg.jp> 募集しているプロジェクト(伊賀市ウェブサイト)▶

